



播磨高原東小・中学校 在り方検討会だより



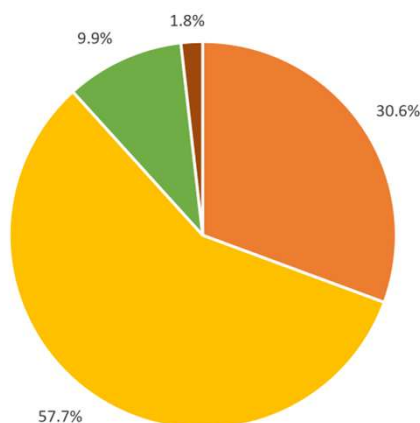
「播磨高原東小・中学校在り方検討会だより」は、校区にお住まいの皆様に、話し合いの経過や学校の現状などをお知らせする広報誌です。

発行 播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方検討会
(事務局：播磨高原広域事務組合教育委員会事務局 教育総務課)

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

令和6年11月10日から12月20日まで、組合立学校区全世帯と区域外就学家庭を対象に、「播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査」を実施しました。全配布件数361件のうち、112件の回答（回答率：31.0%）がありました。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果については、次のとおりです。



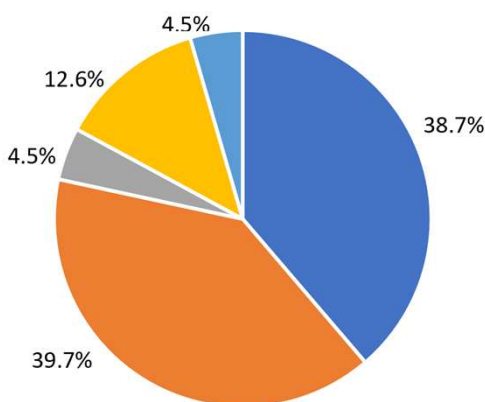
- ①新宮町西栗栖(坂西)
- ②新宮町光都
- ③上郡町光都
- ④区域外

※無回答は、割合に含めず

地域別の回答件数は、下記のとおりです。

- ① 新宮町西栗栖(坂西) 34件
- ② 新宮町光都 64件
- ③ 上郡町光都 11件
- ④ 区域外 2件

(無回答1件については割合に含んでいません。)



- ①そのまま存続
- ②高原一貫校設置
- ③たつの・上郡それぞれへ
- ④新宮一貫校へ
- ⑤どれもいえない

※無回答は、割合に含めず

今後の回答件数は、下記のとおりです。

- ① そのまま存続 43件
- ② 高原一貫校設置 44件
- ③ たつの市・上郡それぞれの学校へ 5件
- ④ 新宮地域小中一貫校へ 14件
- ⑤ どれもいえない 5件

(無回答については割合に含んでいません。)

アンケートで記載されたご意見を一部紹介します。

- ・ 地域のインフラの一つとして学校は重要。そのまま存続させていただきたい。
- ・ 少人数で手厚い高原小に通うことが、この地区に住んでいる理由です。今後統合で新宮地域まで通うようになるようなことがあれば、テクノ周辺に住むよりも引っ越しをした方が何かと便利そうです。同じように考える家庭が他にもあるならば、まち全体の活気が失われることにつながります。
- ・ 企業庁が、まちの将来像を地元市町や有識者を交えて新たに議論する協議会を設置するとされており、その議論の動向を在り方検討会でも情報共有いただきたい。小・中学校の在り方は、光都のまちづくりの方向と表裏一体と考えます。
- ・ 新宮地域に新しくできる小中一貫校と、今ある高原東小・中学校を残して、新宮校区の子供達がどちらでも選べると思います。大人数の学校が良い子も少人数の学校が良い子もいると思います。子供達の意見も大切にしてください。

会議でのご意見を一部紹介します。

- ・ アンケート調査の回答者の8割近くが、組合立学校の存続を希望しているので、存続させる方向で話し合いをしていけば良いと思う。
- ・ アンケート調査の回答にも、大人数の学校で学びたいといった意見があるため、そのような意見に対してどうするかという議論も必要だと思う。
- ・ 今回のアンケート調査の結果は、校区の皆さんの意見は存続という答えだったが、今後、未就学児の保護者の意見は聞いてほしいと思う。
- ・ 私も播磨高原の学校に通ったが、部活動の選択肢が少なく種類が選べなかった。また、大人数の集団で過ごすことによる経験が無かったため、高校に進学してしんどい思いをした。
- ・ 子ども達の成長が一番大切な時期なので、現状維持をしていただきたい。
- ・ 現在、行われている小中一貫（連携）教育が上手く機能しているため中1ギャップを感じることが少ないと思う。
- ・ 令和10年度に開校される新宮地域小中一貫校のような大人数の学校で学びたいと希望する児童生徒がいれば、そちらで学ぶことができるのか。また、校区外から組合立学校で学びたいと希望する児童生徒がいれば、区域外就学の手続きの障壁を少なくして受け入れてはどうか。
- ・ 組合立学校は存続させるが、現在の形で柔軟に対応できる方策を考えていく方が良いのではないか。

